

山陰労災病院の基本理念

私たちは、信頼される・優しい・効率の良い医療を実践し、
地域の皆様と勤労者の健康を守ります。
「信頼・優しさ・効率」

地域包括ケアシステム

平成 26 年度の診療報酬改定の重点課題は、急速な少子高齢化に伴い、団塊の世代の方が 75 歳以上の後期高齢者になる「2025 年モデル」の構築に向け、入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等に取り組み、医療提供体制の再構築、※地域包括ケアシステムの構築を図るとしています。



事務局長 瓜生英人

当院は、地域の中核的病院として、急性期医療及び救急医療等を行っていますが、今年 4 月から小児科・産婦人科を開設し、総合病院として小児医療・周産期医療にも取り組んでおります。

今後は、亜急性期病床 18 床の施設基準を取り下げ、HCU（ハイケアユニット）8 床・一般病棟 375 床（入院基本料 7 対 1）の体制により、高度急性期病院としての役割を果たしていきます。

入院基本料 7 対 1 の施設基準には「入院患者の平均在院日数が 18 日以内であること」という難度の高い項目があり、今まで以上に早期退院（在宅復帰・回復期リハ病棟等への転院）への対応が必要となることから、地域の医療機関との更なる連携により、紹介・逆紹介を推進いたしますので、地域の皆様のご理解・ご協力を、よろしくお願いいたします。

※地域包括ケアシステムとは：

厚生労働省が推進する「団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目途に、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム」

○医療機関の機能分化

医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
急性期機能	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期機能	- 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 - 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADL の向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）
慢性期機能	- 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 - 長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能



川崎名誉院長厚生労働大臣表彰功績受賞

7月1日鳥取労働局において、平成26年度「安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者に対する厚生労働大臣表彰」の表彰式が行われ、当院名誉院長 川崎寛中先生（現、鳥取産業保健総合支援センター所長）が功績賞を受賞されました。



一日看護体験

当院では、毎年「看護の日」の記念行事の一環として、近隣の高等学校の生徒さんを対象に「1日看護体験」を実施しております。今年は8月1日に開催し、23名の生徒さんにご参加いただきました。

生徒さんたちには白衣に着替えてもらい、院内の見学、血圧測定やAEDの操作など体験していただきました。

AED体験



心臓マッサージ

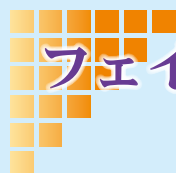


血圧を測ります



ビデオでBLS（一次救命処置）の勉強





フェイスブックを開設いたしました。



7月1日から、当院のフェイスブックページを開設いたしました☆
タイムリーな情報をどんどん掲載していきますので、よろしくお願いいたします。

フェイスブックへは、お持ちのスマホから、こちらのQRコードからどうぞ

スマホにF Bアプリの無い方



スマホにF Bアプリの有る方



また、当院のホームページから入ることが出来ます。

ここをクリック！





会長特別賞をいただきました！

今年も米子がいな祭りに「山陰労災病院万燈隊」
参加しました v(^o^)v v(^o^)v v(^o^)v



診療科紹介

糖尿病・代謝内科

【概要】

当科は、昭和 60 年開設以来、主に糖尿病中心に、高脂血症、高尿酸血症、その他内分泌疾患等を含め診療しております。

糖尿病教育施設でもある当科では、医師 3 名（日本糖尿病学会学会員 3 名、専門医 2 名、研修指導医 1 名、日本内分泌学会員 1 名）、糖尿病看護認定看護師 1 名、日本糖尿病療養指導士 11 名が中心となり、活動しております。糖尿病治療に関しては、外来患者、入院患者、開業医からの紹介患者を主な対象としております。

医師、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士、検査技師が月 1 回糖尿病教室を開催し、「自己管理」をモットーとした患者指導、合併症の予防を主眼とした診療を行っています。

また、インスリン治療の外来導入、一泊二日の短期教育入院実施、フットケア外来、糖尿病腎症透析予防指導等開設し、様々な患者様への対応ができるように心がけております。栄養指導を含め開業医の先生方のご紹介を期待しています。

今後益々増加が予想される糖尿病患者に対し、地域の基幹病院として、病診連携を重視しながら、代謝疾患に対して幅広く対応し、患者様中心のレベルの高い医療を提供出来るように努めていく所存です。

【主な取り扱い疾患】 糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、内分泌疾患

【担当医】

○糖尿病・代謝内科：火、木、金 宮本 美香 塩地 英希 徳盛 豊

○内分泌専門外来：木 伊澤 正一郎（大学病院より）



放射線科

【概要】

当院の放射線科の歴史は比較的浅く、放射線科常勤医師が初めて赴任したのは、平成 17 年 4 月です。放射線科の業務は、様々な放射線機器を使った画像診断と画像診断機器を用いた治療技術（インターベンショナルラジオロジー；IVR）です。

画像診断は従来からの X 線診断のほか、コンピュータ断層診断（CT および MRI）、超音波診断、核医学診断などからなり、当院の画像センターで撮影された画像は、すべてが画像サーバーに保管され、放射線科専門医がコンピュータのモニター上で診断し、院内の各診療科に診断結果を迅速に報告しています。

また、IVR は、針やカテーテルと呼ばれる細い管を使用し、画像誘導下に行う経皮的治療行為で、手術に比べ入院期間が短く、患者さまのご負担が少ない治療法です。近年の画像診断のめざましい発達と IVR に用いられる器具の進歩により、この分野は急速に普及しつつありますが、特にがん診療においては、外科治療、化学療法、放射線療法とともに、中心的な役割を期待されるに至っています。当院では、IVR 施行に最適な IVR-CT システムをいち早く導入し、安全かつ正確な治療に努めています。

当科では、最新の画像診断機器による、迅速かつ正確な画像診断を心がけるとともに、画像診断および IVR を通じて、地域医療に密着した患者さま中心の医療を提供していきたいと考えております。

進行・再発がん治療においては、全身化学療法のほか局所治療である IVR を駆使することにより、効果の増強や生活の質（QOL）の向上を図ることができ、患者さまの状態に合わせた、がん治療を行っています。

また、診断時から積極的に緩和ケアを取り入れ、全人的な苦痛の軽減に努めており、診断から治療まで、総合がん診療科的な役割も担っています。

【取り扱っている主要な疾患】

全身の画像診断（CT、MRI、RI）のほか、頭蓋内および心臓を除く全身の IVR、消化器がんの全身化学療法、緩和ケアを行っています。IVR の内容は、腫瘍血管の塞栓術や抗癌剤の動脈内注入、中心静脈ポートの埋め込み、腫瘍に対するラジオ波を用いた凝固療法、狭窄した管腔臓器の拡張術、画像誘導下の生検などがありますが、がんに対して有効な治療法のみならず、がんによって引き起こされた様々な症状を緩和し、がん患者さまの QOL を高める、いわば積極的緩和ケアも含んでいます。

【担当医】 井隼 孝司（月～金）



放射線科部長
井隼 孝司

ハートフルコンサート開催

7月16日(水) 当院正面玄関ロビーにおいて、「ハートフルコンサート」を開催いたしました。
職員有志による「エイサー」の演舞と、Dr. YUBIこと田本直弘先生(米子子どもクリニック院長)のライブをお届けしました。
ノリノリの曲、可愛い子供たちとのコラボ、そして心暖まる曲。
多くの患者さまに喜んでいただけました。



子ども達とのコラボ「ラーメン体操」(頭に乗っているのは、発泡スチロールの「ラーメン鉢」です。)

当院の最新型 3.0TMRI 装置のご紹介

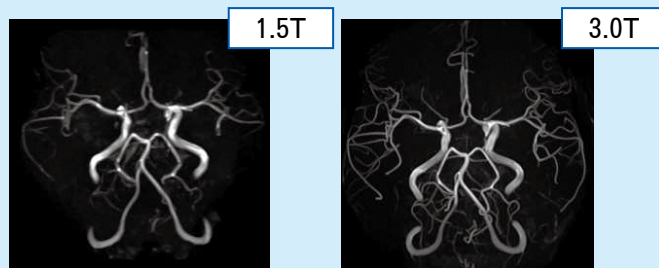
中央放射線部 水谷 慎吾

平成26年7月より、最新型 3.0TMRI 装置 MAGNETOM skyra (スカイラ) の運用を開始しました。
(下写真 当院 3TMRI 装置)

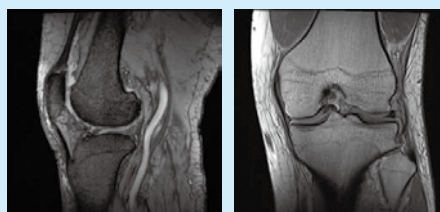


この装置は、3テスラという強い磁場を使って撮影するため、従来装置と比べて、より診断能力の高い、詳細な画像を得ることが出来るようになりました。
全身の検査に対応している装置ですが、その中でも特に頭部、関節、肝臓造影検査で威力を発揮します。

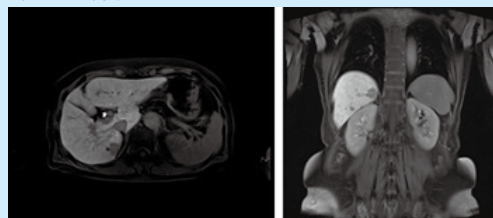
頭部領域では、微細な脳構造や小さな梗塞巣の把握、従来評価の難しかった穿通枝のような、微小な血管の描出も可能です。(右図 脳血管画像)



関節領域では、関節軟骨、骨梁、軟部組織の性状を、より詳細に評価することができるようになりました。(下図 膝関節)



息止めが必要な肝臓造影検査では、3T装置の性能を活かし、息止め時間の短縮や、微細な病変の検出に威力を発揮します(下図 肝臓画像)



その他の特長として、撮影装置の開口径は 70cm、奥行は 173cm と広く短くなり、かなり圧迫感が軽減されました。

患者様には、自由度の高い体位での検査が可能となり、安心して快適な検査環境を提供できるようになりました。



MRI 検査は、強力な磁石を利用するため、検査の際に、金属類を外して検査着に着替えていただきます。新しい装置は、磁力が 2 倍になることから装着金属、体内金属などについては、今まで以上に慎重な対応が必要となります。

安全に検査を行うために、ご協力よろしくお願ひいたします。

詳しくは、検査時に放射線技師がご案内いたします。



「看護のスペシャリスト」シリーズ No.6

— 認定看護師の活動紹介 —

山陰労災病院集中ケア認定看護師 東田 宏美

皆様こんにちは。集中ケア認定看護師東田宏美です。現在私は高次治療室（HCU）で勤務しています。集中ケア認定看護師を取得して 2 年目になります。

集中ケア認定看護師とは、生命の危機状態にある患者様に対し、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践し、実践を通して他の看護師に対して指導する役割を担っています。また生命の危機状態にある患者様及びその御家族への看護について相談・支援を行うという役割も担っています。集中ケアが必要な患者様は、生命を脅かす疾患や事故などに遭われた患者様であり、多くの医療機器、ドレーンなどの管が装着されています。身体的にも、精神的にもストレスが多い状態であり、御家族も同様にストレスの多い状況となります。HCU の中では御家族を含めた看護が重要になります。私達は、わかりやすい情報提供に努め、少しでも患者様、御家族に寄り添える看護が提供できるように心がけています。看護師、患者様、御家族がお互い良い信頼関係を築けるように援助ができればと思っています。そのために安全で適正な看護が確実にできるスタッフ、後輩育成を目指しています。そして当院の集中ケアの質の向上を目指していきたいと考えています。

集中ケア認定看護師は呼吸、循環について他の認定看護師と比べ、より詳しく学習しています。その特徴を生かし R S T（呼吸サポートチーム）の活動をしています。週 1 回 HCU 内で人工呼吸器装着患者様のラウンドを行っています。急性期医療を担う当院では呼吸管理の必要な患者様が多数おられます。医師、看護師、臨床工学士、理学療法士が一つのサポートチームを作り、主治医と共に人工呼吸器装着患者様の管理をサポートしています。安全で適正な呼吸管理が行え、早期人工呼吸器離脱、抜管、早期回復できるようチームで援助しています。

更に院内だけではなく、地域、他施設の皆様と活発な交流や情報交換を行い、集中ケア認定看護師の存在を知っていただき、活用していただきたいと考えています。呼吸、循環に関する看護について、口腔ケア、吸引手技、体位ドレナージの方法等の実技講習などお手伝いできますので、気軽に私まで連絡して頂ければうれしく思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



外 来 診 療 担 当 医 師

平成 26 年 8 月 14 日現在

		月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日
内 科	1 診	福谷 幸二 (呼吸)	加藤 和宏 (呼吸)	加藤 和宏 (呼吸)	福谷 幸二 (呼吸)	木下 直樹 (呼吸)
	2 診	古城 治彦 (消化)	徳盛 豊 (糖尿) 宮本 美香 (糖尿) 塩地 英希	尾崎 就一 (循環)	徳盛 豊 (糖尿) 宮本 美香 (糖尿) 塩地 英希	徳盛 豊 (糖尿) 宮本 美香 (糖尿) 塩地 英希
	3 診	岸本 幸広 (肝)	神戸 貴雅 (消化)	岸本 幸広 (肝)	向山 智之 (消化)	神戸 貴雅 (消化)
	4 診	遠藤 哲 (循環)	足立 正光 (循環)	笠原 尚 (循環)	太田原 顕 (循環)	水田 栄之助 (循環)
	5 診	中岡 明久 (腎)	西向 栄治 (肝)	角田 宏明 (消化)	謝花 典子 (消化)	西向 栄治 (肝)
	6 診 禁煙外来	足立 正光 (ペースメーカー外来)	前田 直人 (肝)	石田 千尋 (午前) (腎)	伊澤 正一郎 (甲状腺)	前田 直人 (肝)
内 視 鏡	胃	神戸 貴雅 前田 直人 西向 栄治 角田 宏明	向山 智之 岸本 幸広 山下 太郎 (大学)	謝花 典子 向山 智之 隔週 〔程塚 正則 (大学) 安部 良 (大学)〕	古城 治彦 神戸 貴雅 角田 宏明 山下 太郎 藤井 容子 (嘱)	謝花 典子 岸本 幸広 藤井 容子 (嘱)
	大腸		古城 治彦 謝花 典子	神戸 貴雅 古城 治彦		向山 智之 古城 治彦
消 化 管 X 線 検 査		向山 智之 謝花 典子 山下 太郎	角田 宏明	前田 直人 山下 太郎	西向 栄治	角田 宏明
神 経 内 科	1 診	林 永祥	林 永祥		林 永祥	林 永祥
	2 診	吉本 祐子	寺岡 瞳	吉本 祐子	吉本 祐子	寺岡 瞳
	3 診	楠見 公義	楠見 公義	楠見 公義	寺岡 瞳	楠見 公義
心 療 科	1 診	高須 淳司	高須 淳司	長田 泉美	高須 淳司	山内 崇平 (大学)
	2 診			高須 淳司		高須 淳司
外 科	1 診	建部 茂	大井 健太郎	福田 健治	山根 成之	山根 祥晃
	2 診	野坂 仁愛	不 定		野坂 仁愛	
整 形 外 科	1 診	楠城 誉朗	不定 (受付 10 時まで)	大月 健朗	不定 (受付 10 時まで)	岡野 徹
	2 診	大塚 弘剛		小畑 哲哉		志摩 隆之
	3 診	岡野 徹		楠城 誉朗		大月 健朗
	4 診	志摩 隆之		大塚 弘剛		小畑 哲哉
	5 診	金谷 治尚		金谷 治尚		
脳神経外科	1 診	田辺 路晴	近藤 慎二	不 定	小林 智行	近藤 慎二
	2 診			(大 学)	沼田 秀治	
心 臓 血 管 外 科		休 診	黒田 弘明	小野 公誉 第 1・第 3 は 手術のため休診	黒田 弘明	不 定 手術の有無により 休診の場合あり
皮 膚 科		三島 エリカ	三島 エリカ	三島 エリカ	三島 エリカ	三島 エリカ
泌 尿 器 科	1 診	渡部 信之	門脇 浩幸	門脇 浩幸	手術のため 休診	渡部 信之
	2 診	門脇 浩幸	田路 澄代	渡部 信之		田路 澄代
眼 科	1 診	宮野 佐智子	佐々木 勇二	佐々木 勇二	宮野 佐智子	佐々木 勇二
	2 診	佐々木 勇二 (予約)	宮野 佐智子 (予約)	宮野 佐智子 (予約)	佐々木 勇二 (予約)	
耳 鼻 咽 喉 科	1 診	杉原 三郎	杉原 三郎	(大 学)	門脇 敬一	杉原 三郎
	2 診	門脇 敬一	木谷 修一		木谷 修一	門脇 敬一
リハビリテーション科 (心 臓 リ ハ)		磯邊 康行 (尾崎 就一)		磯邊 康行 (尾崎 就一)		磯邊 康行 (尾崎 就一)
麻 酔 科		術前診察 (午前)	術前診察 (午前)	術前診察 (午前)	術前診察 (午前)	術前診察 (午前)
歯 科 口 腔 外 科		高橋 啓介	高橋 啓介	高橋 啓介	高橋 啓介	高橋 啓介
放 射 線 科		井隼 孝司	井隼 孝司	井隼 孝司	井隼 孝司	井隼 孝司
産婦人科	午 前	1 診 岩部 富夫	上垣 崇	岩部 富夫	上垣 崇	岩部 富夫
		2 診 上垣 崇	岩部 富夫	上垣 崇	岩部 富夫	(大 学)
	午後 (新患可)	岩部富夫・上垣崇 (予約)	岩部富夫・上垣崇 (予約)	手 術	岩部富夫・上垣崇 (予約)	岩部富夫・大学 (予約)
	救 急	上垣 崇	上垣 崇	上垣 崇	上垣 崇	岩部 富夫
小児科	午 前	1 診 飯塚 俊之	林 篤	福嶋 健志	飯塚 俊之	林 篤
		2 診 福嶋 健志	飯塚 俊之	林 篤	福嶋 健志	福嶋 健志
		3 診 林 篤	福嶋 健志	飯塚 俊之	林 篤	飯塚 俊之
	乳幼児健診 (14~15 時)			不定 (1 ヶ月以外)		不定 (1 ヶ月以外)
	予防接種 (14~16 時)	不 定	不 定	不 定	不 定	不 定
	予約外来 (15~17 時)	不 定	不 定	不 定	不 定	不 定
	専門外来 (15~16 時半)		大野 耕策 (紹介のみ)			

☆小児科救急当番日：毎週木曜日 (18:00 ~ 22:00)、毎週土曜日 (17:00 ~ 22:00)、
祝休日 (月、火、木、土の 9:00 ~ 17:00)

☆乳幼児健診、予防接種外来は予約が必要です。

山陰労災病院

〒 683-8605
鳥取県米子市皆生新田 1 丁目 8 番 1 号
TEL (0859) 33-8181

地域医療連携室
TEL (0859) 33-8189 (直通)
FAX (0859) 35-4348